



津久見 市議会だより

平成17年
6月定例会

No.9

編集発行/大分県津久見市議会(〒879-2435) 0972-82-9518



本格的な工事が始まった千怒一日見間道路

**市民の皆様へ
ご理解と
ご協力のお願い**

公職選挙法により、政治家が有料の挨拶広告、初盆での寄付、暑中見舞などの挨拶状を出すことが禁止されていますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

平成17年第2回市議会定例会は6月9日(木)から6月24日(金)までの16日間の会期で行なわれました。市長提出議案は、報告4件、専決処分の承認7件、条例の一部改正6件、人事案件1件、その他7件、意見書案8件、請願1件でした。意見書案1件は継続審査、請願1件は不採択されました。その他いずれも可決されました。

問 他市の事故事例による津久見市の対応について、点検結果と対策はどの様に行われたのか。また、遊具の設置基準や安全管理の点検基準についてどのようになっているのか、お伺いいたします。

答 昨年4月に大阪の児童公園で子供が回転式遊具に指を挟まれ切断したことは、公園を管理するものにとつてショッキングな事故でした。市としては、遊具施設の安全点検を実施するものにとつてショッ

きの摩耗により強度がなくなつていて遊具や腐食により危険なものは撤去し、判断に迷うものは専門メーカーの意見を聞き修理等の処置をしてきたところです。



公園内遊具の安全管理について

上野 寛

その他、ナイトーソフトボーラー大会の出場チーム数に制限を設けた理由について等を質問しました。

問 広域消防の実現は

問 県においても今秋には長期総合計画が策定され、その中で広域消防の構想が具体化されると思うが、津久見市の消防はどうなるのか。

また、現在の消防署の老朽化とともに、埋立地に消防署が建設予定地が確保されているが建てかえるのか。

答 平成14年8月に臼津広域連合消防広域化検討委員会を立ち上げ協議してきましたが、市町村合併によつて協議は中断されており、広域消防については合併が実現してからの課題だと思っています。

消防署の庁舎については、昭和40年に建設して老朽化しています。建替の用地については

消防行政の機能強化について

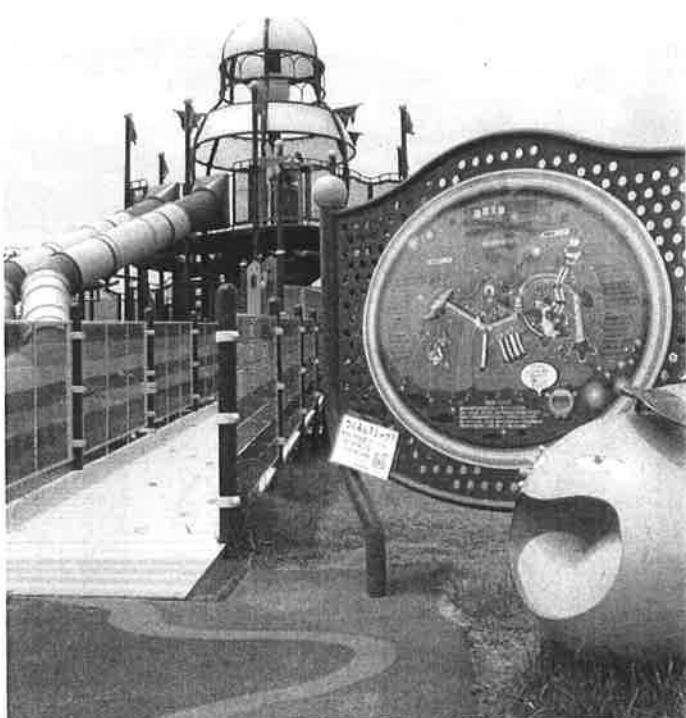
板井 王成

一般質問

9議員が登壇 傍聴者延べ39名

第2回定例会の一般質問は6月16日(木)・17日(金)に行われ、定数18名中9名の議員が市政全般について一般質問をしました。

なお、紙面の都合により全てを載せられませんのでご理解下さい。



公園内の遊具の安全管理は

遊具を使用する子供の年齢層や地域実情に応じた施設の選定を行うようになっています。

安全管理の点検基準については、日常点検として月に1回程度施設の変形や異常の有無を目視触診・打診などにより行っています。定期点検については、必要に応じて専門技術者と協力して年に1回程行っています。特に使用頻度の高い「つくみん公園」については職員が週に3回以上ごみ拾いとともに異常がないか確認しています。

専門の異常が確認されれば、専門のメーカーの意見を聞きながら判断しています。今后とも遊びの天才である子供たちが、安全で安心して遊べる公園管理に努めていきたいと考えています。

問 確保していますが、いつの時点
で建替えするかは目途がたつ
ていない状況です。



レンジャーの訓練風景

問 津久見市民野球場の
管理について



下水道工事の完成図

確保していますが、いつの時点
で建替えするかは目途がたつ
ていない状況です。

**離島の患者搬送体制は
できているのか**

問 今年も台風の時期が近づ
き不安に思うが、災害時の緊
急連絡体制は万全か。

答 平成11年から津久見市緊
急情報システムを導入して緊
急連絡体制を強化しており、
本年度中には携帯電話を利用
したシステムの導入を検討し
ているところです。

問 台風等で集落が孤立して
患者が発生という事
態を考えねばなら
ない災害が全国で起
きているが、本市は
そうした場合の対策
を想定しているか。

答 大分県防災航空隊に防災ヘリコプ
ターの要請をし対
応いたします。

また6月29日に
住民に安全と安心
を与えるために保戸
島地区で災害が発
生し、2名の重傷者
が出たということを
想定し、防災ヘリコ
プターによる救助訓
練の実施を予定して
います。

公共下水道事業について

高野幹也

問 これまでの事業の概要と
その問題点は。

答 昭和51年に事業着手し、
平成16年度末現在の総事業費
は127億8789万円となっ
ています。

**水洗化率(つなぎ込み可能
な人口に対し、どれだけつな
ぎ込みが行われているか)につ
いては、57.9パーセントで県
平均81.1パーセントを大幅に
下回っているのが現状です。こ
のまま、水洗化率の低い状況
が続けば、一般会計の繰出金が
増え、ひいては財政硬直化を
招くことになります。**

答 今後、水洗化率の向上が最
重要となるが、その取り組みは。
これまでにも個別訪問や
市報等で水洗化の促進に努め
てきましたが、今後は指定工
事店や工事落札業者との連携
による加入促進、区長や議員
を通じての普及や啓発を実施
する中で水洗化率のアップを
図っていきたいと考えています。

答 スポーツ施設という特異
な芝生の管理とすることに加
えて、平成20年開催予定の国
民体育大会をはじめ大規模な
大会の開催予定球場に選定さ
れたこともあり、より専門的
な業者を選定しました。

問 今年も扇子踊り大会を野
球場で行うと芝生
に悪影響を与える
と思うが。

答 扇子踊り大会
の会場の選定は、い
くつかの案が検討
されました。しかし
年も市民野球場で
開催することが觀
光協会の総会で決
定されました。

問 昨年までと芝生の管理方
法を変更したのはなぜか。

答 津久見市役所
では県下でもいち
早く、「津久見市地
球温暖化対策実行
計画」を策定し、すべての行政
事務、事業について、平成11年
度を基準年として平成13年度
から本年度までの5年間にC
O₂をはじめとする温室効果
ガス5パーセント削減を目標
に取り組み、すでに目標を大
きく上回っています。

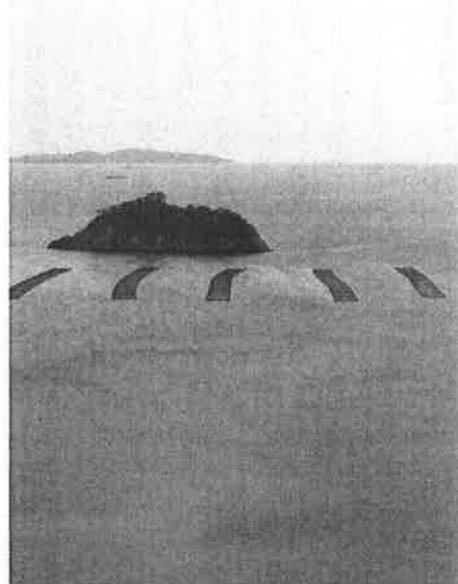
問 これまでの事業の概要と
その問題点は。

答 これまでの事業の概要と
その問題点は。

答 これまでの事業の概要と
その問題点は。

思つております。厅内協議がまとまりましたら、地区長さん等

関係者へご相談したいと思つております。



水産業の発展が望まれる漁場

少子化対策について

清水 美知子

保育所の産前産後の
入所緩和を

乳幼児医療費
助成金の継続を

問 産前産後6ヶ月までに仕事が見つからない時は、保育所をやめなければなりません。

答 子供さんが多胎児であつたり、母子の体調が悪い時などは、家庭事情を考慮した措置を行っています。育児休業前に入所していた児童につきましては、生れた子供が1歳になるまでは入所可能です。

問 乳幼児医療費助成金3歳から6歳通院分について、平成18年から削減を検討とあります。思い切った行財政改革をしていかなければならぬ時ですが、必要な事業はぜひ残していただきたい。

答 この事業は、乳幼児の健やかな成長を願つて疾病の早期発見と早期治療を促進することにより、乳幼児の健康保持、

増進を図るものであります。また、少子化対策として〇歳から小学校入学までの乳幼児に対して、かかつた医療費の自己負担分を助成する事業で、特に津久見市では3歳から6歳までの通院費を単独で助成している事業です。

しかし、医療費は他市を大きく上回り、単独事業分の事業費も上昇傾向であることから、単独部分については、助成方法を含め見直す時期にきていると認識していますので、ご理解をお願いします。

介護予防の推進について

問 どのような取り組みを行つているのか。

答 高齢者の皆さんのが介護を受けるような状態にならないよう、主な事業として、生きがい活動支援通所事業を行っています。通所先のとぎ俱楽部を中心に、実利用者260人、年間延べ5800人が利用しております。浴・体力測定及び趣味的な行事も行つており、送迎を含め閉じ籠もり防止にも効果を上げています。

問 保戸島の島民は、離島であるがゆえに苦渋の生活をしています。市の総合計画に市内30分構想の実現に向けて、四浦半島部の道路整備が平成19年度には完成予定です。



少子化対策で子供達を育もう

保戸島の将来の展望について

石田 哲彦

架橋について

問 保戸島の島民は、離島であるがゆえに苦渋の生活をしています。市の総合計画に市内30分構想の実現に向けて、四浦半島部の道路整備が平成19年度には完成予定です。

答 これまで架橋要望の声は長が立ち上がり、会長に吉本にについて今後どのような計画で取り組んでいかれるのか。

答 これまで架橋要望の声はありませんが、一方で治安面や交通事故、環境悪化の不安や心配の声のほか、離島としてのインフラ整備がまだ必要であるとの声から、必ずしも

また、健康推進課、医師会、白梅の両在宅介護支援センターと協力して介護予防の学習会を、市内25か所、約400人

に対し、転倒骨折予防教室を行つています。その他、今年度から市のふるさと贊歌「海と太陽の国」のリズムに合わせて筋力強化、バランス、ストレッチ等元気な高齢者向けにサンサン体操を考案し、地域の高齢者に普及している状況です。

その他、津久見川の浸水対策について質問しました。

強い要望とはならなかつた状況であります。

こうした中で、島唯一の医院がなくなることや緊急時への対応、車での自由な往来への願望等のほか、道路幹線の整備により市内30分構想が今後数年うちに現実のものになる見込みとなりました。

このため、保戸島地区が実

施した住民アンケートの結果をもとに四浦地区の自治会や婦人会も協力して期成会を立ち上げ、市長を会長に議長や地元代表で知事等への要望活動を行つたことは重要な意味を持つものであり、一步を踏みだしたと認識しています。

今後の取り組みについては、国、地方を問わず厳しい財政状況の中で架橋実現までの道のりは決して平坦ではありません。事業化については、県施行で要望することが最も適切であると考えており、県、国への要望活動はもとより、架橋実現への合意形成を高めていく必要があり、市としても関係者との協力のもとに取り組んでいきたいと考えています。

保戸島の医療施設と診療体制

問 保戸島で唯一の病院である安藤医院が平成17年5月31

にわたり、島民は言うに及ばず四浦半島、無垢島等の地域医疗にご尽力賜り、感謝の念にたえません。島民が一日も早く安心と生きがいをもつて生活できるよう、今後の医療施設と医療体制についてどのように考えですか。

答 市としましても早急に県などと協議し、医師会のご協力で「保戸島地区の巡回診療」を毎週木曜日に行うことになりました。

問 生ごみ処理機が破損し代替機を検討中とのことです。
答 修理をしても新しい処理機にしても費用額が大きく、関係部署と協議した結果、当分の間「豊海丸」で運搬処理することにしました。

保戸島はすぐそこです



保戸島はすぐそこです

問 保戸島の医療施設と診療体制

答 保戸島で唯一の病院である安藤医院が平成17年5月31

雨水は流域の狭い急流河川を伝い、地下水に溜る事なく海水と混ざってしまう。何と「もつたない」事でしょう。地下水から汲み上げている水道水の現在の需給バランスはどうなのか。

問 津久見市では、山に降った雨水は流域の狭い急流河川をか所の9水源で取水しております。現在のところ水道水の確保はされています。また、塩分の毎月検査、年2回の全項目検査などでも



いつも水が溜つてほしい青江川

問題ありませんので、現状では安全な水の供給が図られています。すると考えていました。

問 大分県は、平成18年度から「森林環境税」を導入し、積極的な事業の提案を募集している。「保水力」を高める手立てとして、この税源を生かしたいと思います。

問 限りある水資源を確保するため、青江川のような全く水が流れていないうれに、「堰(せき)川の小さなダム」を造る事を県に要望してはどうか。

答 以前、県に要望を出しましたが、青江川や津久見川は、川幅が狭く急であるため「堰」を造る

日付で閉院されました。

安藤先生には約50年の長き

にわたり、島民は言うに及ばず、四浦半島、無垢島等の地域医疗にご尽力賜り、感謝の念にたえません。島民が一日も早く安心と生きがいをもつて生活できるよう、今後の医療施設と医療体制についてどのように考えですか。

問 生ごみ処理機が破損し代替機を検討中とのことです。
答 修理をしても新しい処理機にしても費用額が大きく、関係部署と協議した結果、当分の間「豊海丸」で運搬処理することにしました。

水道水の需給バランスについて

川野龍則

た造林事業に取り組んでは。関係機関と協議を重ねて保水力を高めるべく、森林の育成を諂つていただきたいと思います。

水辺の環境保全について

問 昨年3月、「津久見市環境基本計画」を策定したが、これの推進体制となる「環境市民会議」を早急に設置してほしいが、いつになるのか。

答 9月には立ち上げたいと考えています。

総合学習について

問 「公教育」の総合学習は、「授業革命」であり、教科書がない。津久見市の現状と問題点を教えて下さい。

答 子供達に「生きる力」を身につける為に、平成14年度から始まりました。小学校3年生以上、年間105～110時間、中学校70～130時間で、平均週3時間を総合学習に使用している。内容は、地域に関する事、情報、国際環境・自然・福祉・健康等です。問題点はその内容が充分達成されているか、各教科との関連は明確なのか、校外学習での安全面等です。

問 本来の授業時間が減った分の土曜日の活用は。

答 文部科学省の方針を踏まえて、検討していただきたい。

インフラ整備について

小手川洋邦

問

第2千怒地区画整理事業について

答 第2千怒土地地区画整理事業は、平成7年度より14・9ヘクタールを事業規模として取り組んできたところであり、平成16年度末現在で仮換地指定率は77・9パーセントとなっています。

今年度事業は、JR沿いの一部と千怒川沿いの一部の区画道路と整地工事などを予定しております、17年度末事業費ペースでの進捗率は91・5パーセントとなります。

施工期間については、平成18年度を目標としてきましたが、移転補償費や区画道路の事業費などを考え、換地処分と登記事務をいれると、2～3年延長せざるを得ない状況です。現在、施工期間、事業費について残事業の検証を行っており、まだ早期に着手した街区の中で、未整備な土地については整地を行い良好な街並みの形成を図りました。

問 千怒・彦ノ内間のトンネルの状況と計画について

答 千怒・彦ノ内間の広域農道は、大分県が事業主体となり昭和61年に事業着手し、千怒地区から彦ノ内を結ぶ延長1644メートルを2期地区として事業計画されています。進捗状況は、大小2つあるトンネルのうち、彦ノ内地区の108メートルのトンネルも16年度までに完成し、残事業は彦ノ内グラウンド横の県道佐伯・津久見線との交差点改良工事と本体トンネル工事となっています。

本体トンネルは、トンネル延長1018メートルで計画されています。

なお、完成目標年度については、当初平成19年度としていましたが、地権者との交渉に不測の日数を要したことから平成20年度に変更せざるを得ない状況となりました。

問 千怒・日見間のトンネル

答 国道217号



千怒地区画整理事業の風景

千怒・日見間の路線については、市内30分構想の重要な生活道路として、また、産業経済道路として、平成13年度より地形用地測量をかわきりに詳細設計や用地補償などが行われ、昨年度は、千怒・日見それぞれ入口付近の道路部の工事などが実施されてきたところです。



今議会で採択された意見書(案)

地方議会制度の充実強化に関する意見書(案)

地方6団体改革案の早期実現に関する意見書(案)

義務教育国庫負担制度の堅持および30人以下の学級の実現・複式学級解消を求める意見書(案)

米国産牛肉の拙速な輸入再開に反対し、BSEの万全な対策を求める意見書(案)

障害者自立支援法案の慎重な論議を求める意見書(案)

「道路特定財源の堅持に関する意見書(案)

雇用対策と地域活性化を重視した政府予算の編成を求める意見書(案)

「道路特定財源の堅持に関する意見書(案)

なお、最低賃金の引き上げを求める意見書(案)

については、継続審査となりました。



副議長 岩崎 荘



議長 池見 耕治

津久見市議会の組織が6月9日に再編さ
れました。

津久見市議会 新体制発足

● 総務常任委員会

委員長	川野 小手川
副委員長	増田 岩崎
委員員	板井 松田
委員員	成吉 吉邦
委員員	利則 利邦

● 建設経済常任委員会

委員長	小谷 安
副委員長	清水 中津留
委員員	池見 藥師寺
委員員	井藤 康
委員員	王裕 耕助

● 社会文教常任委員会

委員長	西石 成
副委員長	高川 小板
委員員	野谷 井松
委員員	幹龍 栄
委員員	野念 成
委員員	幹豊 王裕
委員員	也則 利成
委員員	作利 彦丸

メンバーが
変わりました

議会だより編集委員会

委員長	岩崎 荘
副委員長	
委員員	

高川 知成	板井 岩崎
野野念 松井	幹豊 王裕
幹龍 利成	也則 利成



6月定例会の議場には池坊翠の会の皆様から、3回にわたってお花の奇贈がありました。ありがとうございます。

6月17日に社会文教委員会、6月20日に総務委員会及び建設経済委員会、6月21日に予算特別委員会を開会し、付託された議案及び意見書(案)について審議した結果、意見書案1件を除いて、その内容も理解されましたので可決すべきものと決しました。

委員会等の報告

編集後記



昔のように、春が来て梅雨があり、夏が来るというごく自然な地球をとり戻したいものです。

6月は降雨量が少なく、連日30度を越す猛暑となりました。私の学生時代は、6月になるでは、「また、金がかかる」と心配してたら7月に入つて、まとまつた雨が降ってくれ「ほつ」としました。